

特集：持続可能な学習教育支援システムの開発と運用

Moodle の開発体制と日本の大学における管理運用事例

喜多 敏博^{*}，穂屋下 茂^{**}，大西 淑雅^{***}，奥村 晴彦^{****}，
上木佐季子^{*****}，木原 寛^{*****}，長谷川 理^{*****}，不破 泰^{*****}

Moodle's Systematic Development at Moodle HQ and Examples of Administration Methodologies in Japanese Universities

Toshihiro KITA^{*}, Shigeru HOYASHITA^{**}, Yoshimasa OHNISHI^{***}, Haruhiko OKUMURA^{****},
Sakiko UEKI^{*****}, Hiroshi KIHARA^{*****}, Osamu HASEGAWA^{*****}, Yasushi FUWA^{*****}

Moodle is an opensource LMS that is distributed under the GNU General Public License, and is one of the world's most common LMSs. It is used also in many Japanese higher education institutions, and unlike commercial LMSs, Moodle often needs some self-help efforts for sustainable and continuous operation. This document describes how Moodle development is organized in a sustainable way, and examples of how Moodle sites in Japanese Universities are stably administrated and maintained.

キーワード：Moodle, オープンソース LMS, 開発拠点, 管理体制, 持続可能性

1. はじめに

Moodle (ムードル)⁽¹⁾⁽²⁾ は, GNU GPL (General Public License) の下で配布されているオープンソース LMS (Learning Management System) であり, eラーニング用のプラットフォームとして世界中で利用されている代表的な LMS の一つである。日本においても, 全国の多数の高等教育機関などで利用されている。

Moodle には, 一般に多くの LMS に備わっている機能が一通りそろっている。「小テスト」(自動採点されるオンラインテスト) によって, 高い学習効果が期待できる自習用教材を提供できる。「ページ」や「ファイル」と呼ばれる機能によって簡単に教材ページを作成でき, ワープロ文書やスライド資料なども公開できる。「フォーラム」は, 学習者が自由に書き込んで議

論できる掲示板だが, 書き込み内容がメールで参加者に転送される機能も含まれている。「課題」によって, 提出されるレポートが整然と管理でき, 提出期限遅れや未提出も一目でわかる。これ以外にも, チャット, メッセージ送信, レッスン (学習者とのインタラクションで表示されるページや問題が変化する教材), 投票, 用語集, Wiki など, さまざまな便利な機能が標準機能としてそろっている。

eポートフォリオなどの外部システムとのデータのやり取りや SSO (シングルサインオン: ログイン認証が一度だけで済む仕組み) などの連携機能も充実している。スマートフォンやタブレットでの利用も可能である。標準機能以外にも, 世界中の開発者が独自に開発した多数の追加機能が公式サイトで公開されており, 誰でも自由にその機能を使用することができる。

* 熊本大学 (Kumamoto University)

** 佐賀大学 (Saga University)

*** 九州工業大学 (Kyushu Institute of Technology)

**** 三重大学 (Mie University)

***** 富山大学 (University of Toyama)

***** 信州大学 (Shinshu University)